

視聴覚教育

NO. 55

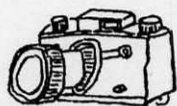
発行日 昭和五十四年九月
発行所 岡崎市AVL編集
編集者 岡崎市AVL編集
発行委員会 広報委員会

視聴覚教育の課題

美川 中 校長 犬塚 鑑 君

夏季休業中も、昭和五十四年度現職教育視聴覚部の年計画に基いて、各研究がなされ、部門ごとに活発な活動が順調に進められ、その成果も立派なものだと敬服する。同時に、岡崎市視聴覚ライブラリーの加藤先生、部長の太田先生を中心に視聴覚教育の振興のために努力を惜しまない各先生方の労苦に感謝申し上げます。

さて、本年この部門に仲間入りさせていただいたが、浅学のため各位に大変ご迷惑をおかけしておりますが、幸いにも前石川校長さんの後を受け継ぎ、中学校の視聴覚教育の研究と現在、取り組んでいるが、各位のご指導の基に、遅れている中学、



校の視聴覚教育の進展に努力したいと考えている。多くの備品費を投入しての視聴覚機器、教材が管理運営の面で眠っては大変である。幅広い教育活動の場において、日常的に利用され、学習の効果と上げるよう役立てたい。

夏季実技講習会 盛会裡に終わる

広幡 小 清水 弘

●OHP 84 矢作市民センター。四十一名参加。TP作成機(ゼノファックス)によるTP作り。

●VTR 82 連尺小。六十七名参加。「おり紙」「岡崎城」「上皿てんびんの使い方」「奥三河の野菜作り」の自作ビデオ制作。

●校内放送 89 三島小。百三十九名参加(児童、生徒と含む)。三島小・福岡中の実践報告。NHK小沢一郎アナウンサーの「上手なアナウンスとは」の講演。

●工場見学 89 幸田ソニー工場。四十四名参加。ビデオレコーダーの製作過程見学。

OHP講習会に参加して

数学を教える立場になって四ヶ月。従承のへ

声

へチヨークと黒板だけの授業からなんとか脱皮したいと考え、自分なりにTPを使っている授業を考えていた。その私にとって、この実技講習はOHPをひんとか有効に使えそうなる自信を手えてくれた。これからの授業に役立てていきたい。

(巻海中 加藤政幸)

朝のテレビタイムの試み

—(テレビの有効利用を求めて)—

全教室へテレビを入れていただいたのを機会に、全校体制で「放送学習」に取り組むことになった。

まず「教科部会」「学芸会」「運営委員会」「職員会」等の討議から、今までの「朝の学習・点検」の時間三十分を「レビ視聴」と「話し合い」の時間にあてることにして、スタートした。

最初が教科に関係のある「社会」「理科」「英語」を火曜日から金曜日の間「視聴・話し合い」を実践したが、それは教科担任でないと、しっかりできないことがわかった。そこで、教科に関係のないノングレイドの「みどりの地球」「中学生の広場」「中学生日記」などに切り替えたところ、教科、



ライブラリー
だより

の時よりも、話し合いが活発になり、内容の理解も深まり、「視聴ノート」の整理、「話し合い活動」も少しずつ軌道に乗ってきたようである。やっと研究の第一歩に踏み込んだところであり、ご指導の程お願いします。

自作教材の撮影 快調に進む

本年度制作予定のビデオ教材五本、ハ
三リ教材一本の制作が自作委員会へ委員
長・白井正荘の手によって意欲的に進
められている。郷土読本「おがき」に
合わせた作品づくりをはじめ三且目。
今年「山のくらし」「島のくらし」な
ど、新指導要領にそった作品も計画され、北
設や録島へ宿泊撮影も出かけた。

いずれの作品も二学期中に完成の予定であ
る。